

第8回福島県都市計画審議会都市政策推進専門小委員会 会議の概要

日 時：平成27年3月18日（水）10：00～

場 所：福島テルサ 3階 あぶくま

1. 開会

2. 議事内容

2.1 第7回専門小委員会が出された意見・質問に対しての追加説明

2.2 浜通りの都市づくりの視点および基本方針について

3. 審議内容

3.1 第7回専門小委員会が出された意見・質問に対しての追加説明

第7回専門小委員会が出された意見・質問への説明に対して議論された。主な意見・質問は以下の通り。

<主な意見・質問>

○人口動向・推計について

- ・人口減少は難しい問題。女性の転出超過が続いている一方で男性が転入超過になっている。人口のアンバランスが続くと現在の想定よりも更に人口が減少する可能性がある。
- ・新規就労者、震災後転出した人の帰還による転入人口の上乗せをどう考えるかが課題。

○産業の変化について

- ・人口だけではなく、雇用についても被災地全体のバランスが悪くなりつつある。求職と求人のミスマッチだけでなく業種のミスマッチもある。
- ・雇用のミスマッチには、業種、年齢、空間（地域）の3つの側面がある。
- ・経済指標は上向きだが、復興の最盛期で一時的なものという見方もある。

○現況把握に対する今後の対応について

- ・今後の状況が予測できない部分をどうやって把握していくかが重要。自治体の転出入者へのアンケートなどによって細かい状況を把握して前向きな対策をとっていく必要がある。
- ・受入避難者の宅地供給に対する市の取組みは、緊急避難的に是認するというだけでなく、「居住の場を作ることによってバランスの悪さを是正する」「今後の新たな産業振興に備えて居住の場を作る」という側面もある。
- ・原子力災害固有の面がある。ただの自然災害であれば仮設住宅が解消されて復興住宅に移っていくが、仮設住宅の入居期間が長期化している。復興住宅が建った時に、はたして入居してくれるのかという予測は難しい。

3.2 基本方針の考え方

浜通りの都市づくりの視点および基本方針について議論された。主な意見・質問は以下

の通り。

<主な意見・質問>

○浜通りの都市づくりの視点について

- ・新しいまちをつくっていかねばならないこの地域で、今大事なのは身近な人と人とのふれあい。これから帰還する人が高齢者中心になると予測される中で、そうした人々が生活できる場を提案することが重要。
- ・小さな拠点や身近な生活圏という考え方は重要。帰還意向は日々変わると避難者が話していた。揺れ動いている避難者の気持ちを受け止めていく言葉を考えたい。

○基本方針について

- ・この言葉を聞いて、県民一人ひとりが「じゃあやろう」という気持ちになるかどうか。地域に即したテーマをわかりやすい言葉にしたほうがいい。
- ・被災自治体や被災者に向けた言葉ということならばもうすこし柔らかい言葉にしたほうがよい。県全体の方針にある程度の事は集約されている。浜通りに即したということであれば「安全安心」「人に対するケア」という2本の柱で考えたい。

○今後の進め方について

- ・結論としてまとまらなかった。いくつか重要な指摘があったが、事務局にこれ以上データを求めるのは難しいということがわかった。責任ある議論をしたいので、次回は各委員が思っていることを報告していただきたい。事務局には今日の議論を受けて基本方針の代替案を考えていただきたい。日程調整は改めて。

以 上